

KENWOOD



TPZ-D563

TPZ-D563BT

UHF デジタル簡易無線電話装置 (登録局)

取扱説明書

Hyper Demitoss

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

TPZ-D563BT は Bluetooth[®]搭載モデルです。

本無線機を使用する際には、必ず総務省の総合通信局に無線局の登録申請をおこない、登録状の交付を受けたあとに使用してください。

無線局の登録申請をおこなわずに使用すると、不法無線局となり、1年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処されることになりますのでご注意ください。

無線局の登録申請については、登録申請書式を一式同梱しています。

登録申請書の書き方および申請方法については、下記 URL、または QR コードから弊社ウェブサイトの「無線局の登録申請について」のページをご覧いただき、登録申請してください。

<https://www.kenwood.com/jp/products/communications/hpdt/touroku.html>



目次

安全上のご注意	4
ご使用上のご注意	7
ご使用の前に	8
Bluetooth® 機能に関する表示 (TPZ-D563BTのみ)	8
Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意	8
FOSS ライセンス	9
本機の付属品	10
バッテリーパックの取り扱い	10
バッテリーパックの取り付け	10
バッテリーパックの取り外し	11
バッテリーパックの充電	12
オプション機器の接続 (別売品)	14
半挿しえラー警告	14
ストラップの取り付け	14
アンテナの取り付け	15
ベルトフックの取り付け	15
各部の名称と機能	16
操作キー / ツマミ	16
表示部	18
操作のしかた	20
操作説明について	20
通話する	20
通話するときのアドバイス	21
グループで通話する	22
ユーザーコードを設定する	22
通話する	23
秘話機能で通話する	23
秘話鍵コードを設定する	23
秘話機能を使用する	24
Bluetooth® 機器を使って通信する (TPZ-D563BTのみ)	25
Bluetooth 機器とペアリングする	25
オートチャンネルセレクト (ACS) 機能を使って検索する	27
ユーザーコードを設定する	27
オートチャンネルセレクト (ACS) 機能を使う	27
オートチャンネルセレクト機能種別選択	28
グループ ACS 機能を使う	28
デュアルグループ ACS 機能を使う	29
その他の基本機能	31
はっきり聞き取り機能	31
キーロック機能	32
チャンネルレスキャン機能	32

スキャン対象.....	33
バックライト機能.....	33
VOX 機能.....	33
VOX レベル(マイク感度)設定.....	34
VOX 遅延時間設定.....	35
セカンド PTT チャンネル.....	35
全設定初期化.....	36
メニュー モードについて.....	37
メニュー モードへの入り方の操作方法.....	37
メニュー モードの操作方法.....	37
メニュー モード機能一覧.....	38
拡張メニュー モード機能一覧.....	41
MCP-10B について.....	46
基本フロー.....	47
MCP-10B を使ってできること.....	47
その他.....	48
故障かな?と思ったら.....	48
保証とアフターサービス(よくお読みください).....	49
オプション一覧.....	50
仕様.....	51
電波法に関するご注意.....	52

- メニュー モードおよび拡張メニュー モードの機能一覧の項目については、各メニュー モードの機能一覧のページを参照ください。

説明上の注釈表記について

	このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。
	このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

- ◆ 販売店にて機能や設定を変更している場合があります。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容(表示と意味)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水が場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



使用環境・条件

	引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
	運転しながら無線機を操作(通信)するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作(通信)してください。

充電池(バッテリーパック)の取り扱いについて

充電池は下記のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

	充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。
--	---

-  充電温度範囲は、5°C～40°Cです。この温度範囲以外では充電しないでください。
-  指定以外の充電器では充電しないでください。
-  無線機以外の機器に取り付けないでください。
-  火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解したりしないでください。
-  濡れた無線機と電池を充電しないでください。火災や感電の原因となります。
-  端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
- 充電池から内部の液体などが漏れている場合は、直ちに使用をやめて、下記のことをお守りください。
 -  充電池内部の液体が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
 -  充電池内部の液体が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠ 警告

使用方法について

-  オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。
-  エアバック装置の近くに無線機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たってけがをすることがあります。
-  機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首に掛けないでください。けがの原因となります。
-  無線機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・やけど・感電・故障の原因となります。
-  アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当たってけがを負わせたり、ものに当たって装置が破損したりすることができます。
-  アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。
-  アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけどの原因となります。
-  ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。けがの原因となります。
-  高温になる場所(火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けがの原因となります。

安全上のご注意

-  直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色し、火災ややけどの原因となることがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  本機の付属品や、本機から取り外したものを幼児、子供の手の届くところに置かないでください。あやまって飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
-  落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。
-  煙が出たら、やけどに注意してすぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
-  内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損したりした場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがしたりするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・やけど・感電・故障の原因となります。
-  雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。
-  無線機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠ 注意

使用環境・条件

-  電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
-  空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。
-  本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
-  テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えることがあります。
-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなつてからご使用ください。
-  マイクの開口部やスピーカーグリルに水が入ると、音声レベルが不安定になります。無線機を操作する前に、無線機を軽く振って、スピーカーやマイクから水を取り除いてください。

使用方法について

-  ベルトフックに指をはさまないようにご注意ください。
-  スピーカー／マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。
-  乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用したときに静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロфонをご使用ください。
-  長期間使わないときやお手入れの際は、安全のため、電源を切り、電池を外してください。
-  イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。
-  スピーカーマイクロфонなどを無線機に接続している場合は、音量を下げてください。モニター機能を使用するときの音量に注意してください。
-  充電端子などに水滴が付いたら、安全のため乾いた布で拭き取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。
-  無線機は、充電動作中にバッテリーパックの温度が高くなる場合があります。バッテリーパックを交換するときは、十分気を付けて取り外してください。
-  無線機は、長時間、送信のために使用される場合、本体の金属部分が熱くなるので、バッテリーパックを交換するときなどは、金属部分には手を触れないでください。
-  ◆ 充電器など別売りの外部機器使用時の注意については使用する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- 本機を複数で使用する場合、近距離(約10m以内)で同時に通話しないでください。異なるチャンネル同士であっても、電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境(天候や建物などの障害物)によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 通話のできる距離の目安は下記のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。
 - ※送信出力5W出力時
 - ・建物が林立する市街地：約0.5～1km
 - ・見通しの良い郊外：約1～4km
- 本製品は抗菌・抗ウイルスのセルフィール[®]を加工済です。セルフィール[®]はニチリンケミカル株式会社の登録商標です。

ご使用の前に

Bluetooth® 機能に関する表示 TPZ-D563BTのみ

本機背面に貼られているラベルに記載の、Bluetooth 機能に関する表示について説明します。

2.4	2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。	
FH	変調方式を表します (FHSS: 周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。	
1	想定干渉距離を表します (10 m 以下)。	
---	全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。	

Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetooth に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア局が運用されています。

本機の Bluetooth 機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本機の Bluetooth 機能をオンする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など（以下「他の無線局」という）が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の Bluetooth 機能をオフにしたうえで、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡いただき、混信回避の処置についてご相談ください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG,Inc. が所有権を有します。株式会社JVCケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

防塵 / 防水性能について

本機はオプション接続端子の防水キャップを、隙間のないように正しく取り付けた状態で弊社指定のバッテリーパック (KNB-75LA/ KNB-76L) を装着することにより、IPX8^{※1} の防水性能と、IP6X^{※2} の防塵性能を有しています。

※1 IPX8 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1 m のところに無線機を静かに沈め、2 時間放置後、取り出したときに無線機としての機能を有することを意味します。

※2 IP6X とは、保護度合いを指し、直径 75 μm 以下の塵埃（じんあい）が入った装置に無線機を 8 時間入れてかくはんさせ、取り出したときに無線機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

- 本製品は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際のご使用にあたって、すべての状況で防塵 / 防水性能を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

- 本機の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水が掛かる環境でのご使用は無線機の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 水中での使用（各種操作キーの押下など）はIPX8の保証対象外となります。
- ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けてからナットで固定してください。また、取り付ける際には、微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）をはさんでいないか、ご確認ください。
- 石鹼水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものを掛けたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、掛けたりしないでください。
- 本機の汚れを落とす際は、水に漬けたり、蛇口からの水や湯を直接当てたりしないでください。
- 本機が濡れているときは防水キャップを開けないでください。
- オプションを使用しない場合は防水キャップをしっかりと閉じてください。
- オプション自体の防塵/防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電台やACアダプターは防塵/防水仕様ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵/防水性能に影響を与える場合があります。

音声圧縮（符号化）方式について

米国 DVS! 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

FOSS ライセンス

本装置は下記のライセンスに基づくソフトウェアを使用します。なお各ライセンスは JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を記載します。

*Md5

Copyright (C) 1999, 2000, 2002 Aladdin Enterprises. All rights reserved.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty.

In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

L. Peter Deutsch

ghost@aladdin.com

ご使用の前に

本機の付属品

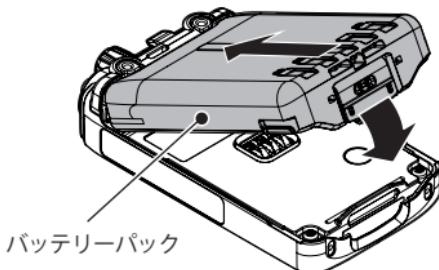
付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

充電式リチウムイオンバッテリーパック (KNB-75LA (1820 mAh))	1
充電器	1
ACアダプター	1
ベルトフック	1
ベルトフック取り付けねじセット	1
アンテナ	1
登録申請書類	一式
取扱説明書	1
保証書	1

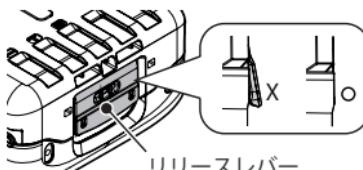
バッテリーパックの取り扱い

バッテリーパックの取り付け

- 1 バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、バッテリーパックを押し込みます



- 2 リリースレバーを本体にロックさせます



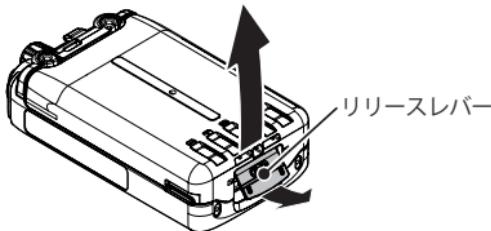
リリースレバーが横から見て浮かないようにしてください。



- ◆ バッテリーパックを取り付け/取り外すときは、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。

バッテリーパックの取り外し

1 バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します



バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電したり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが常温まで冷めてから使用してください。常温の状態でも使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保管後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電/放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

使用済みバッテリーパックの取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



Li-ion 20
充電式

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、弊社営業担当窓口、または販売店へお持ちください。リサイクルにご協力をお願いいたします。

ご使用の前に

バッテリーパック使用時間の目安

使用条件	バッテリーセーブ機能	
	オン(初期値)	オフ
KNB-75LA 使用時	15 時間	13 時間
KNB-76L 使用時	18 時間	15 時間

送信出力 5 W で、送信 5/受信 5/待受 90 の比率にて連続運用した場合の時間です。

バッテリーパック残量警告

バッテリーパックの容量が減ると、表示部の「」が点滅し、LED が赤色に点滅し「ブブブ」と警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

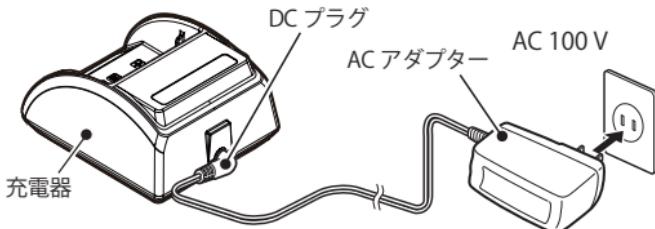
 : 十分  : 残量あり  : 残量少  (点滅) : 残量なし (要充電)

バッテリーパックの充電バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。使用前に必ず満充電してください。また、使用後も必ず充電してください。

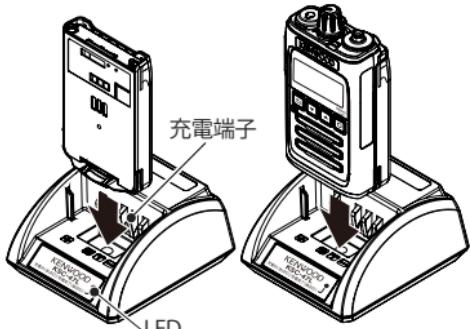
バッテリーパックの充電

1 付属するACアダプターのプラグを充電器に差し込みます

2 ACアダプターをACコンセントに差し込みます



3 無線機、バッテリーパックを充電器に差し込みます



充電開始すると LED が赤色に点灯します。
充電時間の目安は下記のとおりです。

- KNB-75LA : 約 150 分
- KNB-76L : 約 180 分



- ◆ 無線機をご使用しながら充電はできません。無線機を充電器に差し込むときは、必ず電源を切ってください。

4 充電が完了するとLEDが緑色に点滅します

無線機を充電器から抜きます。

充電時の状態表示

LED の色	状態
赤点灯	充電中であることを表します。
赤点滅または点灯しない	バッテリーパックが正しく差し込まれていない場合があります。再度差し込みなおしてください。 充電端子が接触不具合をおこしている場合があります。充電台の端子やバッテリーパックの端子を綿棒や乾いた布で拭いてから再度充電してください。それでも改善しない場合は、バッテリーパック、または充電台に何らかの不具合があります。直ちに充電を中止して、お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
緑点滅	充電が完了したことを表します。
緑と橙が交互に点灯	バッテリーパックの温度が充電温度範囲外になっています。一度バッテリーパックを充電台から抜き、バッテリーパックが常温になってから再度充電台に挿入してください。



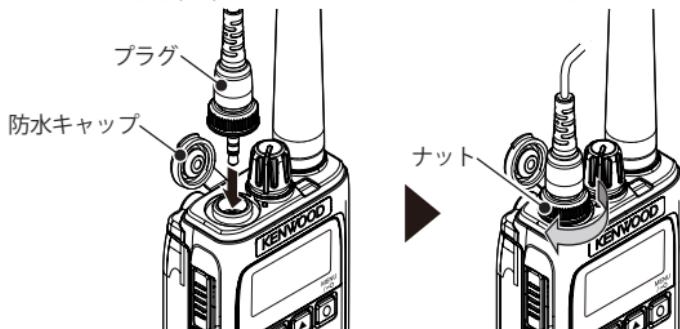
- ◆ 必ず専用のバッテリーパック、充電器、ACアダプターを使用して充電してください。指定以外の機器を用いて充電すると故障の原因になります。
- ◆ 充電器や、ACアダプターまたはACアダプターのケーブルが損傷している場合は、充電せずお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ◆ 充電端子を金属物などでショートさせないでください。
- ◆ コンセントから、ACアダプターを抜く際は、コードではなくACアダプター本体を持って抜いてください。
- ◆ 充電器は、ACアダプターのケーブルを踏んだり、引っ掛けたりして、損傷したりしない場所に置いてください。
- ◆ 本体やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因になります。本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよく拭き取ってから充電器に差し込んでください。
- ◆ 充電器の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。
- ◆ 充電器の近くで無線機を使用すると、充電器が誤動作することがあります。

ご使用の前に

オプション機器の接続 (別売品)

イヤホン/スピーカーマイクロфонなど外部機器を接続します。

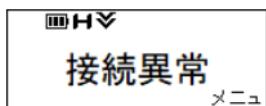
防水キャップを外して、無線機の接続端子にオプション機器のプラグを差し込み、プラグのナットを時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



- ◆ 必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
- ◆ 防水キャップが正しく取り付けられていないと防水性能は保証できません。オプションを使用しないときは、防水キャップが正しく取り付けられていることを確認してください。また、オプションを接続した場合は防水性能の保証はできません。
- ◆ 断線防止のため、オプションを取り外すときは、プラグを持って取り外してください。

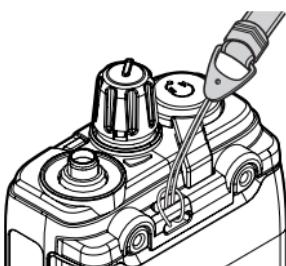
半挿しえラー警告

オプション機器のプラグ接続が不完全な場合を検出すると、右記の画面になりエラー音が鳴ります。接続の不具合が解消されたときエラー表示とエラー音は停止します。



ストラップの取り付け

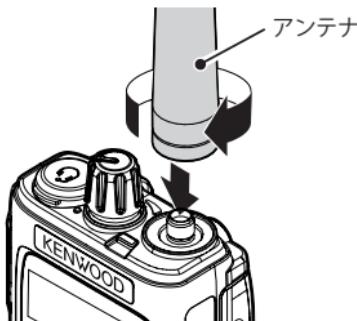
別売品のネックストラップ SB-4 や市販品のストラップを取り付けるときは、無線機背面上部のストラップ用穴を使用してください。



- ◆ ストラップを持って本機を振り回したりしないでください。故障やけがの原因となります。

アンテナの取り付け

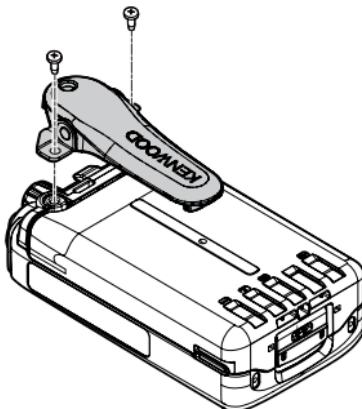
アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



ベルトフックの取り付け

ベルトフックと本体のねじ穴を合わせて、付属のねじで取り付けます。

ベルトフックを本体のねじ穴に合わせて、ねじが緩まないようにしっかりと取り付けてください。

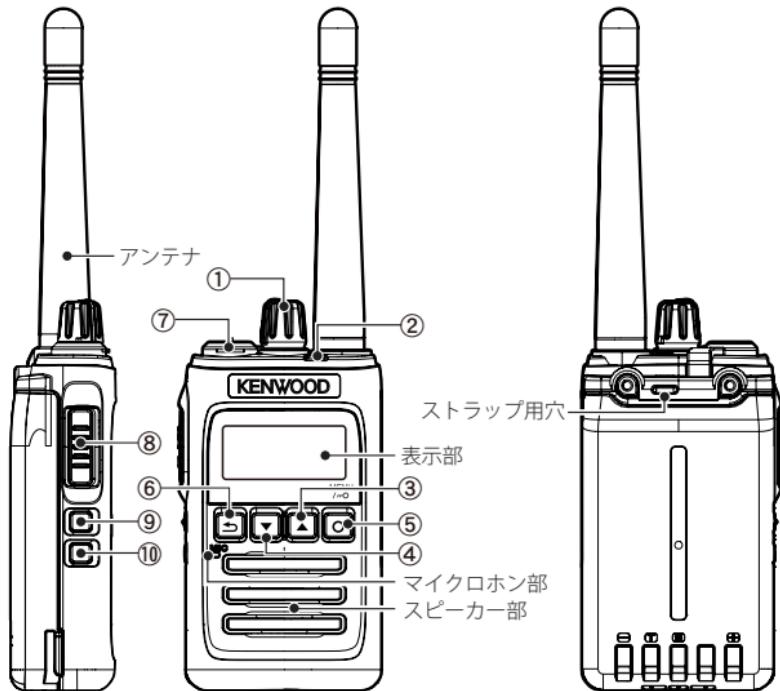


- ◆ 付属以外のねじを使用しないでください。
- ◆ 時々ねじの緩みがないか確認してください。

各部の名称と機能

操作キー/ツマミ

本機の【○】、【▲】、【▼】、【◀】、【サイド1】、【サイド2】キーには、任意の機能を登録することができます。



① 【電源/音量】ツマミ

電源のオン/オフ、および音量を調節します。

② LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

選択呼出受信のときは設定した色に点滅します。

③ 【▲】アップキー

出荷状態で設定されている機能

押す	チャンネル番号が上がります。
押し続ける	オートチャンネルセレクトを開始します。

④ 【▼】ダウンキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	チャンネル番号が下がります。
押し続ける。	チャンネルスキャンを開始します。

⑤ 【○】メニューキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	メニューを表示します。
押しながら電源を入れる。	拡張メニューを表示します。
押し続ける。	キーロック機能がオン/オフします。

⑥ 【←】バックキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	現在のチャンネルと設定されたダイレクトチャンネル1が交互に入れ替えわります。出荷時は呼出用15チャンネルが設定されています。
押し続ける。	機能は設定されていません。

⑦ オプション接続端子(防水キャップ)

イヤホン/スピーカーマイクロホンなど外部機器を接続します。

⑧ 【PTT】スイッチ

押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

⑨ 【サイド1】キー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	表示しているチャンネルのスキャン対象/非対象を切り替えます。
押し続ける。	送信出力が切り替わります。

⑩ 【サイド2】キー

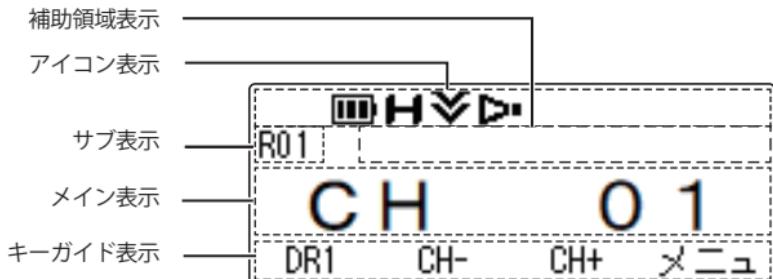
出荷状態で設定されている機能	
押す。	設定されたセカンドPTTチャンネルに移ります。
押し続ける。	機能は設定されていません。



- ◆ 各操作キーの動作機能は出荷時の設定です。メモリーコントロールプログラムMCP-10B(フリーソフト)を使用し、各キーに動作機能を割り付けることにより、動作機能は変更できます。《p.46を参照》

各部の名称と機能

表示部



表示エリア	説明
アイコン表示	設定された機能の動作をアイコンで表示します。
メイン表示	チャンネル番号やメッセージなどを表示します。
サブ表示	登録局のチャンネル番号などを表示します。
補助領域表示	設定された機能の補助的内容を表示します。
キーガイド表示	<p>【◀】 【▼】 【▲】 【○】 キーを押すと起動する機能を表示部の下側に表示します。</p> <p>※表示されるキーガイドは無線機の状態で異なります。</p>

表示可能なアイコン

アイコン	説明
	受信している電波の強さを表示します。
:強 :中 :弱 :微弱 :表示なし:キャリアなし	
	バッテリー容量の残量を表示します。
:高 :中 :低 (点滅):低	(点滅):早めに充電してください。
	送信出力がハイパワーに設定されているときに表示します。
	送信出力がローパワーに設定されているときに表示します。
	上空チャンネルに設定されているときに表示します。(受信専用)
	PTT ホールド機能が設定されているときに表示します。
	スキャン中に表示します。スキャンが一時停止中のときは点滅します。
	オートチャンネルセレクト機能がオンのときに表示します。

各部の名称と機能

各部の名称と機能

アイコン	説明
	デュアルグループオートチャンネルセレクト機能がオンに設定され、サブグループのチャンネルで送信のときに表示します。停止中のときは点滅します。
	セカンド PTT 機能がオン のときに表示します。 セカンド PTT チャンネルを表示しているときは点滅します。
	選択しているチャンネルまたはスキャン一時停止しているチャンネルがプライオリティチャンネルに設定されているときに表示します。
	選択しているチャンネルまたはスキャン一時停止しているチャンネルがスキャンの対象チャンネルであると表示します。
	秘話機能がオンのときに表示します。 暗号化された信号を受信すると点滅します。
	モニター機能が オンのときに表示します。
	Bluetooth 機能がオンのときに表示します。処理中のときは点滅します。
	Bluetooth 機器と接続中に表示します。
	キーロック機能がオンのときに表示します。
	サイレントアラーム機能が設定されているときに表示します。
	点滅:サイレントアラーム機能による音声ミュート状態のときに表示します。 点灯:音声ミュートをキー操作で解除したときに表示します。
	はっきり聞き取り機能がオンのときに表示します。
	音量アップデート機能がオンのときに表示します。
	イヤホンモードがオンのときに表示します。
	選択呼出が一致しているときに点滅します。
	VOX 機能がオンのときに表示します。
	外部スピーカーがオンのときに表示します。

-  ◆ 無線機の設定状態により、使用できる機能および表示されるアイコンは変更されます。

操作のしかた

操作説明について

本取扱説明書の操作説明は工場出荷時に設定されている機能を説明しています。

メモリーコントロールプログラム MCP-10B(フリーソフト)を使用すると、メニュー モードで操作できる機能を追加し、詳細な設定をすることができます。《➡ p.46 を参照》

操作手順の説明では、操作キー (【O】キー、【電源/音量】ツマミなど) の、「キー」、「ツマミ」を記載しません。

通話する

1 【電源/音量】を時計方向に回して電源を入れる

「ピーッ」と鳴り電源が入ります。電源を切るには【電源/音量】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。



2 【電源/音量】を回して音量を調整する

右(時計方向)に回すと音量が大きく、左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。

3 【▲】/【▼】を押して通話チャンネルを合わせる

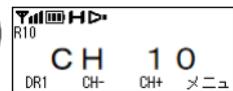
使用するチャンネルが決まっている場合の通話

CH10 に設定の
A さん



通話できる

CH10 に設定の
B さん



通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。相手局の電波を受信すると、LEDが緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

使用するチャンネルが決まっていない場合の通話

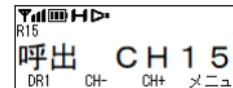
呼出用チャンネル
に設定の A さん



B さん、CH3 に
切り替えてください



呼出用チャンネル
に設定の B さん



はい。切り替えました

呼出用チャンネル (CH15) に合わせて、通話したい相手と使用するチャンネルを決めます。



- ◆ 呼出用チャンネル(CH15)は、不特定多数の人との通話を含め、一時的な呼出チャンネルとなっており、継続的な通話の場合は、別のチャンネル(CH1~14、16~30、S1~S5(受信専用))に切り替えてから通話してください。
- ◆ 呼出用チャンネル(CH15)ではユーザーコード(UC)を使ったグループ通話や秘話機能などを設定した通話ができませんのでご注意ください。

4 【PTT】を押して送信する

送信状態になり、LEDが赤色に点灯します。

- 他に送信している無線局がないこと(送受信LEDの緑色が消灯していること)を確認してから送信してください。



5 【PTT】を押しながらマイクロホンに向かって話す

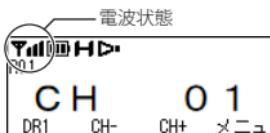
マイクロホンは口元から3~4cm程度離してください。
【PTT】を離すと待受状態に戻ります。



- ◆ 大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

6 相手の音声を受信する

【PTT】を離すと待受状態になります。相手が送信し、受信すると、表示部に電波状態のアイコンが表示され、LEDが緑色に点灯し、相手の音声が聞こえます。



7 【電源/音量】を反時計方向に回して電源を切る

使用後は、電源を切ってください。

通話するときのアドバイス

キャリアセンス(混信防止機能)について



本機は、電波法の規定によりキャリアセンス(混信防止機能)を備えています。

送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。送信しようとするチャンネルが他の局に使われているときに【PTT】を押すと、警告音が鳴り、表示部に「ビジー」と表示されます。他の局が通話を終了してから送信してください。

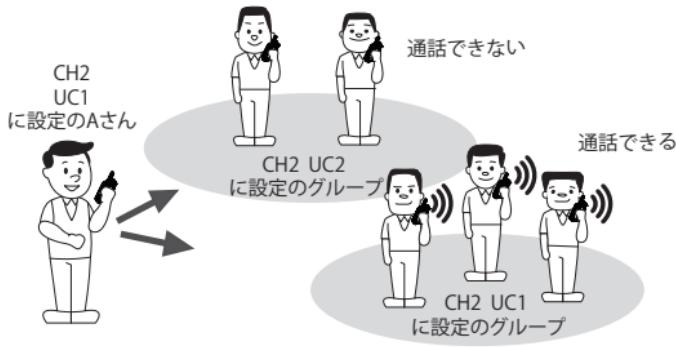
通話時間の制限について

本機は、電波法の規定により1回の通話時間を、送信と受信あわせて5分間に制限しています。連続送信を自動的に停止する機能です。本機は、連続して5分以上の送信はできません。5分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合1分以上経過しないと再度送信することはできません。

操作のしかた

グループで通話する

ユーザーコードを使用すると、簡易のグループ通話をおこなうことができます。同じチャネルを複数のユーザーが使用している場合、同じユーザーコードを設定しているグループの相手とだけ通話することができます。



ユーザーコードを設定する

グループ通話をおこなうには、送信側、受信側ともに同じユーザーコードに設定しておく必要があります。

- 1 **[O]**を押してメニューに入る
メニュー モードの設定項目が表示されます。
- 2 **【▼】/【▲】**で、カテゴリーアイコンの「機能設定」にカーソルを合わせ、**[O]**を押す
- 3 **【▼】/【▲】**で、設定項目「UC設定」を表示させ、**[O]**を押す
ユーザーコード (UC) の設定値が表示されます。
- 4 **【▼】/【▲】**で、1桁目のユーザーコードを1~9から選択し、**[O]**を押す

	CH一括設定
コード	なし
戻る	

【▲】
を押す

	CH一括設定
コード	1
戻る	

- 5 2桁目以降を設定する場合は、手順4を繰り返す(2桁目以降は0~9)
ユーザーコードは、なし、1~511の範囲で設定することができます。
 - 2桁以上を表示しているときに、**【←】**を押すと1桁目が削除されます。
 - **【←】**を1秒以上押すと全桁が削除されます。
- 6 **[O]**を押し、ユーザーコード確定する



- ◆ 呼出用チャネル (CH15) では本機能は使用できません。他のチャネルを選んでから設定してください。

通話する

1 【PTT】を押して通話する

秘話機能で通話する

デジタルでの音声通話に暗号化をおこない、秘匿性を高めた通話ができる機能です。通話内容の傍受を防止します。

出荷時、秘話機能は設定されていません。拡張メニュー mode の秘話設定カテゴリー内の一括秘話鍵設定で、秘話鍵コードを設定したあと使用することができます。



秘話鍵コードを設定する

1 【○】を押しながら電源を入れて拡張メニューに入る

拡張メニュー mode のカテゴリーアイコンが表示されます。

2 【▼】/[▲]で、カテゴリーアイコンの「 秘話設定」にカーソルを合わせ、【○】を押す



【▲】
を7回押す



設定項目名が表示されます。

3 【▼】/[▲]で、設定項目の「一括秘話鍵」を表示させ、【○】を押す

秘話鍵コードの設定値が表示されます。

操作のしかた

4 【▼】/【▲】で、1桁目の秘話鍵コードを1~9から選択し、【○】を押す

■ 一括秘話鍵	なし
コード	なし
削除	選択

【▲】
を6回押す

■ 一括秘話鍵	6
コード	6
削除	選択

5 2桁目以降を設定する場合は、手順4を繰り返す(2桁目以降は0~9) 秘話鍵コードは、なし、1~32767の範囲で設定することができます。

6 【○】を押し、秘話鍵コード確定する 拡張メニュー mode を終了します。

7 一度電源を切ってから、再度電源を入れる

秘話機能を使用する

1 【○】を押してメニューに入る

メニュー mode のカテゴリーアイコンが表示されます。

2 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「 秘話設定」にカーソルを合わせ、【○】を押す

■ 音響設定	01
 戻る	 次へ
	

【▼】
を押す

■ 秘話設定	04
 戻る	 次へ
	

設定項目名が表示されます。

3 【▼】/【▲】で、設定項目「秘話」を表示させ、【○】を押す

4 【▼】/【▲】で、「オン」を選択し、【○】を押す

■ 秘話	1
<input type="radio"/> オン	
<input checked="" type="radio"/> オフ	
戻る	確定

【▲】
を押す

■ 秘話	2
<input checked="" type="radio"/> オン	
<input type="radio"/> オフ	
戻る	確定

5 【PTT】を押して通話する



- ◆ 秘話機能は、通話する相手局も秘話機能がオンで、同じ秘話鍵コードが設定されていないと正しく通話できません。
- ◆ 秘話機能は、全チャンネルに対して同じ値を一括設定するか、メモリーコントロールプログラム (MCP-10B) を使用することで、チャンネルごとに個別設定することができます。
- ◆ 呼出用チャンネル (CH15) では本機能は使用できません。他のチャンネルを選んでから設定してください。
- ◆ 秘話機能を使用しても、電波を使用した通話であるため、第三者による盗聴を完全に阻止できるものではありません。

Bluetooth[®]機器を使って通信する (TPZ-D563BTのみ)

本機の Bluetooth 機能を有効にすることで、弊社指定の Bluetooth 対応機器と接続することができます。

本機で接続できるBluetooth対応機器

本機に接続可能な Bluetooth 対応機器については、下記の URL および右記の QR コードからご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/support/com/wireless-headset>



Bluetooth機器とペアリングする

ペアリングとは、無線機と Bluetooth 対応機器の機器設定をお互いに登録する機能です。一度ペアリングした Bluetooth 機器とは、再びペアリングする必要はありません。

弊社指定 Bluetooth 対応機器 KHS-55BT との接続を例に説明します。

【無線機のBluetooth機能をオンにする】

1 【O】を押してメニューに入る

- メニュー モードのカテゴリーアイコンが表示されます。
- 拡張メニュー モードからでも設定可能です。

2 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「」にカーソルを合わせ、【O】を押す

3 【▼】/【▲】で、設定項目の「ブルートゥース」を表示させ、【O】を押す

Bluetooth 設定項目名が表示されます。

4 【▼】/【▲】で、「オン」を選択し、【O】を押す

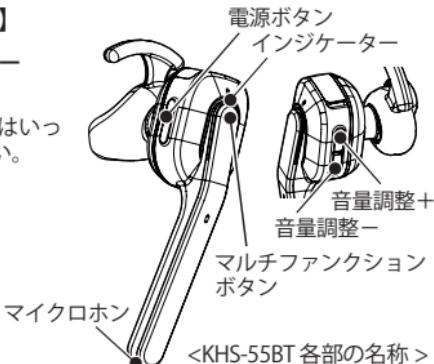
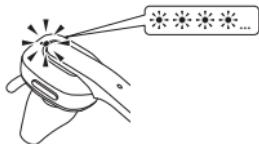


Bluetooth 機能が起動し、アイコン「」が表示されます。

操作のしかた

【KHS-55BTをペアリングモードにする】

- 1 KHS-55BTの電源ボタンをインジケーターが点滅するまで押す(約5秒間)
インジケーターが速く点滅しないときはいつたん電源を切って、やり直してください。



【無線機からKHS-55BTをペアリングする】

- 1 【○】を押してメニューに入る

メニュー モードのカテゴリーアイコンが表示されます。
● 拡張メニュー モードからでも設定可能です。

- 2 【▼】/[▲]で、カテゴリーアイコンの「*」にカーソルを合わせ、【○】を押す



【▲】
を押す



- 3 【▼】/[▲]で、設定項目の「BT機器」を表示させ、【○】を押す

Bluetooth 機器設定項目名が表示されます。

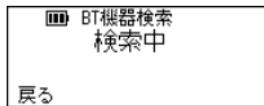
- 4 【▼】/[▲]で、「BT機器検索」にカーソルを合わせ、【○】を押す



【▲】
を押す



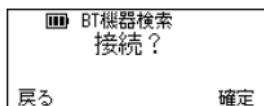
- 5 Bluetooth機器の検索を開始し、検出するとBluetooth機器を表示するので選択し、【○】を押す



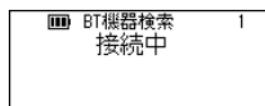
▶
検出すると



- 6 接続確認メッセージが表示されるので、【○】を押し接続処理を実行する



【○】
を押す





- 7 KHS-55BTのインジケーターがゆっくり点滅したら、マルチファンクションボタンを押す
無線機は「接続完了」を表示しアイコン「」が表示されます。



- 8 以降は、Bluetooth機能オンで、自動的に接続されます



- ◆ 最大 10 台の Bluetooth 対応機器をペアリング登録できます。すでに 10 台登録されているときにペアリングをおこなうと、最も古く登録、または接続した Bluetooth 対応機器の登録を解除し、新しい Bluetooth 対応機器を登録します。

オートチャンネルセレクト(ACS)機能を使って検索する

空いているチャンネルを通話の都度自動で探し、同じユーザーコードが設定されている受信局も自動的に同じチャンネルへ引き込む機能です。グループが多い場所での混信を緩和します。

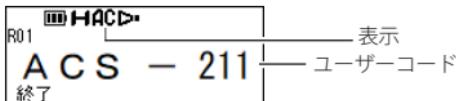
オートチャンネルセレクト機能を使用するには、送信側も受信側もオートチャンネルセレクト機能を有効にし、同じユーザーコードに設定しておく必要があります。

ユーザーコードを設定する

- 1 【○】を押してメニューに入る
メニュー mode の設定項目が表示されます。
- 2 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「機能設定」にカーソルを合わせ、【○】を押す
- 3 【▼】/【▲】で、設定項目「UC設定」を表示させ、【○】を押す
ユーザーコード(UC)の設定値が表示されます。
- 4 【▼】/【▲】で、1~511の設定値から任意のユーザーコードを選択し、【○】を押す

オートチャンネルセレクト(ACS)機能を使う

- 1 【▲】を長く押す
「」アイコンが表示され、空きチャンネル検索を開始します。



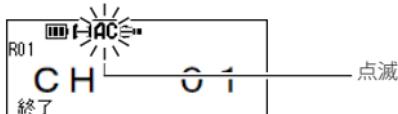
- ! ◆ 【◀】を長押しすると、本機能は解除されます。

操作のしかた

2 受信側に送信する

【PTT】を押すと空きチャンネルで、設定中のユーザーコードで送信をおこないます。送信中、および送信終了後3秒間、チャンネル検索は一時停止します。チャンネル検索が停止している間は「AC」アイコンが点滅します。

- チャンネル検索が一時停止して3秒のあいだに受信側からの応答がないと、チャンネル検索が再開します。



3 受信側が【PTT】を押す

受信側は、チャンネル検索中に一致するユーザーコードの音声を受信します。受信中、および、受信終了後3秒間は、チャンネル検索を一時停止します。チャンネル検索を一時停止している間は、アイコンが点滅します。

受信側が【PTT】を押して応答すると、空きチャンネルにて通話ができます。

- 受信してから3秒以内に送信しないと、チャンネル検索が再開します。

オートチャンネルセレクト機能種別選択

本機は、メモリーコントロールプログラム(MCP-10B)を使用することで、オートチャンネルセレクト(ACS)機能に、グルーブACS機能とデュアルグルーブACS機能の2種類のチャンネル検索動作を追加することができます。

■ 拡張メニューに追加した「ACS種別」で、追加チャンネル検索動作を選択する

- MCP-10Bを使用し、拡張メニューで「ACS種別」を追加することで、追加機能を使用することができます。

「通常」：オートチャンネルセレクトが動作します。《➡ p.27を参照》

「グルーブ」：グルーブACS機能が動作します。《以下の説明に続きます》

「デュアル」：デュアルグルーブACSが動作します。《➡ p.29に続きます》

グルーブACS機能を使う

オートチャンネルセレクト(ACS)に対し、チャンネル検索をグルーブ分けして検索速度を向上させた検索方法です。

グループ	検索チャンネル				
グルーブA	1	7	14	20	23
グルーブB	2	8	13	22	—
グルーブC	3	9	16	21	24
グルーブD	4	10	17	25	28
グルーブE	5	11	18	26	29
グルーブF	6	12	19	27	30

- 呼出用チャンネルであるチャンネル15は含みません。

1 【▲】を長く押す

「AC」アイコンが表示され、グループACSでのチャンネル検索を開始します。



◆ 【←】を長押しすると、本機能は解除されます。

2 【▼】/[▲】を押して検索グループを切り替える



【▲】
を押す

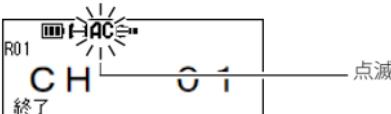


グループを切り替えるとすぐにチャンネル検索を開始します。

3 受信側に送信する

【PTT】を押すと空きチャンネルで、設定中のユーザーコードで送信をおこないます。送信中、および送信終了後3秒間、チャンネル検索は一時停止します。チャンネル検索が停止しているあいだはアイコンが点滅します。

- チャンネル検索が一時停止して3秒のあいだに受信側からの応答がないと、チャンネル検索が再開します。



4 受信側が【PTT】を押す

受信側は、チャンネル検索中に一致するユーザーコードの音声を受信します。受信中、および、受信終了後3秒間は、チャンネル検索を一時停止します。チャンネル検索を一時停止しているあいだは、アイコンが点滅します。

受信側が【PTT】を押して応答すると、空きチャンネルにて通話ができます。

- 受信してから3秒以内に送信しないと、チャンネル検索が再開します。

デュアルグループACS機能を使う

グループACS機能を同時に2つ起動させて、2つのACSグループで通信がされることにより、混信・妨害が発生したときに使用チャンネルの切り替えの連絡をする手間が省け、チャンネルの切り替えの連絡をする手間を避けることができ、スムーズな通信ができる検索方法です。

操作のしかた

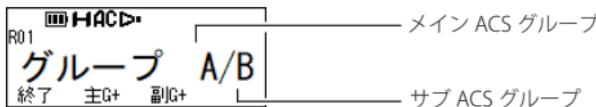
メイン(主)ACS グループ					
グループ	検索チャンネル				
グループ A	1	7	14	20	23
グループ B	2	8	13	22	—
グループ C	3	9	16	21	24
グループ D	4	10	17	25	28
グループ E	5	11	18	26	29
グループ F	6	12	19	27	30

サブ(副)ACS グループ					
グループ	検索チャンネル				
グループ A	1	7	14	20	23
グループ B	2	8	13	22	—
グループ C	3	9	16	21	24
グループ D	4	10	17	25	28
グループ E	5	11	18	26	29
グループ F	6	12	19	27	30

- 呼出用チャンネルであるチャンネル 15 は含みません。
- メイン ACS グループとサブ ACS グループで、同時に同じグループを選択することはできません。

1 【▲】を長く押す

「AC」アイコンが表示され、グループ ACS でのチャンネル検索を開始します。



! ◆ 【←】を長押しすると、本機能は解除されます。

2 【▼】/[▲]で、検索グループを切り替える

メイン ACS グループを切り替えるには【▼】を押す



サブ ACS グループを切り替えるには【▲】を押す



グループを切り替えるとすぐにチャンネル検索を開始します。

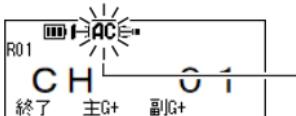
3 受信側に送信する

■ メインACSグループで送信する場合

【PTT】を押すとメイン ACS グループの空きチャンネルで、設定したユーザーコードで送信をおこないます。送信中、および送信終了後 3 秒間、チャンネル検索は一時停止します。チャンネル検索が停止している間は「AC」アイコンが点滅します。

■ サブACSグループで送信する場合

【サイド2】を押すと、サブACS1グループの空きチャンネルで、設定したユーザーコードで送信をおこないます。送信中、および送信終了後3秒間、チャンネル検索は一時停止します。チャンネル検索が停止している間は「AC」および「」アイコンが点滅します。



メインACSグループで一時停止

点滅



サブACSグループで一時停止

4 受信側が【PTT】/【サイド2】を押して通話開始する

受信側が、メインACSグループの場合【PTT】を、サブACSグループの場合、【サイド2】を押して応答すると、空きチャンネルで通話ができます。

- 受信してから3秒のあいだに送信しないと、チャンネル検索が再開します。

その他の基本機能

その他、出荷時に設定されている基本機能について説明します。

はっきり聞き取り機能

起動させることで、受信オーディオ特性を調整し周囲環境に適した独自の音質モードに切り替えて、騒音下などで受信音声を聞き取りやすくする効果があります。

1 【O】を押してメニューに入る

メニュー mode のカテゴリーアイコンが表示されます。

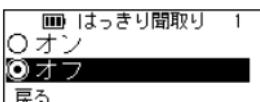
2 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「♪ 音響設定」にカーソルを合わせ、【O】を押す

3 【▼】/【▲】で、設定項目「はっきり聞き取り」を表示させ、【O】を押す

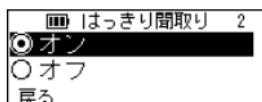
はっきり聞き取り機能の設定値が表示されます。

4 【▼】/【▲】で、項目を選択する

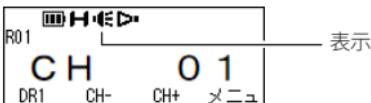
選択した時点で、設定が反映されます。受信音声を聞きながらオン/オフを切り替えることで、聞こえ具合の変化を確認できます。



【▲】
を押す



5 【サイド1】を押してメニュー mode を終了する



表示

操作のしかた

キーロック機能

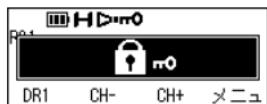
【PTT】/【電源/音量】以外の操作キーに登録した機能をロックし、ポケットなどに入れているときの誤操作を防ぎます。

1 【O】を長く押す

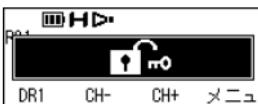
「」アイコンが表示され、キーロックのポップアップが表示されてキー操作がロックされます。キーロック中にキーを操作するとビープ音が鳴り、キーロックのポップアップが表示されます。

2 【O】を長く押す

「」アイコンの表示が無くなり、キーロック解除のポップアップが表示されてキー操作のロックが解除されます。



キーロック動作時



キーロック解除時

チャンネルスキャン機能

チャンネルを自動的に変化させて目的とする信号を受信できるチャンネルを探す機能です。ユーザーコードを設定しているときは、ユーザーコードが一致するチャンネルを探します。

1 【▼】を長く押す

「」アイコンが表示され、スキャンを開始します。



表示

2 スキャン対象のチャンネルで受信する

スキャンが一時停止します。

3 【▼】を長く押す

スキャンを停止し、チャンネル表示に戻ります。



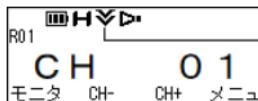
- ◆ スキャン動作中は、下記の機能を実行することができません。
 - ・上空チャンネル
 - ・送信出力切り替え
 - ・ダイレクトチャンネル1を選択

スキャン対象

各チャンネルをスキャン対象にするか、しないかを選択できます。

1 【サイド1】を押す

【サイド1】を押したあと「ピッ」とビープ音が鳴り、「」アイコンが表示されます。表示しているチャンネルがスキャン対象チャンネルになったことを示しています。



表示

もう一度、【サイド1】を押して、「ピッ」とビープ音が鳴って、「」アイコンが消えると、表示しているチャンネルがスキャン非対象チャンネルになったことを示しています。

- スキャン動作中は、スキャン対象/非対象の切り替えはできません。
- スキャン中に受信チャンネルを除外したい場合は、受信中に【サイド1】を押すことで一時的にそのチャンネルを除外できます。スキャン動作をオン/オフすると元に戻ります。

バックライト機能

LCD のバックライトを点灯させる機能です。暗い場所で LCD 表示を見るることができます。

【PTT】以外の操作キーを操作すると表示部が 5 秒間点灯します。

VOX機能

VOX とは、【PTT】を押すことなく、マイクロホンへの音声入力のみで送信できる機能です。

両手がふさがった状態で作業をしているときなど、【PTT】を押すことができない状況で使用します。

- イヤホン付きクリップマイクロホン、またはヘッドセットを接続し、さらに Bluetooth ヘッドセットも接続している場合は、Bluetooth ヘッドセットからの音声入力を優先して VOX 送信します。

1 【○】を押してメニューに入る

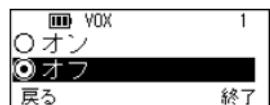
メニュー モードのカテゴリーアイコンが表示されます。

2 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「 VOX 設定」にカーソルを合わせ、【○】を押す

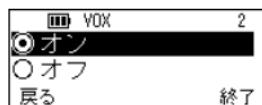
3 【▼】/【▲】で、設定項目「VOX」を表示させ、【○】を押す

VOX 機能の設定値が表示されます。

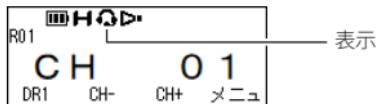
4 【▼】/【▲】で、項目を選択する



【▲】
を押す



5 【○】を押すと設定項目を確定する



VOX 機能をオン時は、「」アイコンが表示されます。

操作のしかた

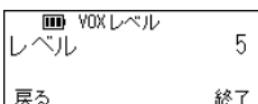


- ◆ VOX機能を使用する場合は対応するオプションを使用してください。(「オプション一覧」<VOX対応>と記載されている製品《➡ p.50を参照》)
- ◆ 本機単体でもVOX機能は動作しますが、ヘッドセットやイヤホンマイクを接続せずVOX機能を使用すると、周囲の音で誤送信したり、受信した音声により誤送信したりしてしまうことがあります。誤送信を防ぐために、必ずヘッドセットまたはイヤホンマイクを接続してからVOX機能を使用してください。
- ◆ 信号を受信しているときは、送信できません。
- ◆ VOX機能を使用しているときは【PTT】スイッチを離しても、VOX遅延時間設定《➡ p.35を参照》で設定している時間、送信を継続します。

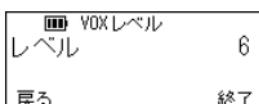
VOXレベル(マイク感度)設定

周りの環境や声の大きさによって、VOX機能使用時のオプションのマイクロホンが感知する音声レベルを設定できます。声に合わせてスムーズに送受信が切り替わるように設定してください。

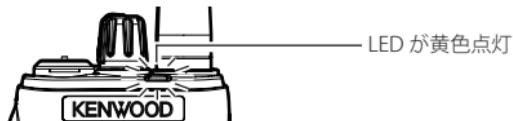
- 1 【O】を押しながら電源を入れて拡張メニューに入る
拡張メニュー mode のカテゴリーアイコンが表示されます。
- 2 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「 VOX設定」にカーソルを合わせ、【O】を押す
- 3 【▼】/【▲】で、設定項目「VOXレベル」を表示させ、【O】を押す
VOX レベルの設定値が表示されます。
- 4 マイクロホンに音声を入力しながら【▼】/【▲】を押してレベルを選択する
レベル 1 から 10 の間で 1 ステップごとに設定します。



【▲】
を押す



- 5 無線機のLEDが黄色点灯するまでレベルを変更する
入力した音声が VOX 送信レベルに達すると LED が黄色点灯します。



- 6 【O】を押しVOXレベルを確定する
- 7 一度電源を切ってから、再度電源を入れる

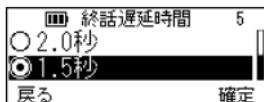


- ◆ VOX レベル (マイク感度) が高感度であるほど小さな音に反応し、VOX 送信状態になります。そのため、周りの環境の背景ノイズに合わせ、適切な VOX レベル (マイク感度) を設定してください。

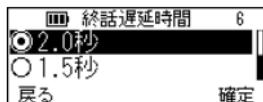
VOX遅延時間設定

VOX機能使用時に音声の最後が送信されない場合があります。このような場合は遅延時間を設定すると、話をやめたあと設定した時間は送信を継続するため音声が途切れることがあります。

- 【O】を押しながら電源を入れて拡張メニューに入る
拡張メニュー mode のカテゴリーアイコンが表示されます。
- 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「 VOX設定」にカーソルを合わせ、【O】を押す
- 【▼】/【▲】で、設定項目「終話遅延時間」を表示させ、【O】を押す
VOX遅延時間の設定値が表示されます。
- 【▼】/【▲】で、遅延時間を選択する
0.1秒から3.0秒の間で設定します。



【▲】
を押す



- 【O】を押し遅延時間を確定する
- 一度電源を切ってから、再度電源を入れる

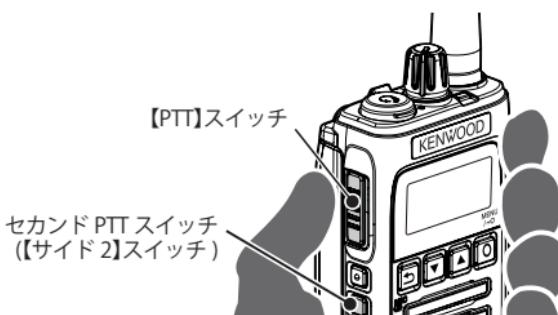
セカンド PTT チャンネル

通常の【PTT】スイッチを使って送信するチャンネルとは別に、セカンド PTT チャンネルを設定し【サイド 2】スイッチを使うことで、2つ目のチャンネルで送信することができます。セカンド PTT チャンネルを設定すると通常のチャンネルとセカンド PTT チャンネルを交互にスキャンします。

いずれかのチャンネルに受信信号がある場合はそのチャンネルにとどまり受信音声を聞くことができます。

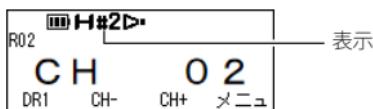


- ◆ 【サイド 2】スイッチ以外のキーにセカンド PTT チャンネル用の PTT を割り当てる場合はメモリーコントロールプログラム (MCP-10B) 《p.46 を参照》を使用して目的のキーに「セカンド PTT 機能」を割り当ててください。

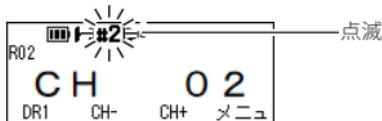


操作のしかた

- 1 セカンドPTTチャンネルを設定すると、「#2」アイコンが表示され、通常のチャンネルと、セカンドPTTチャンネルを交互にスキャンします。



- 2 セカンドPTTチャンネルが受信状態になると、「#2」アイコンが点滅しビープ音が鳴って、受信したことを知らせます。



- 3 【サイド2】を押すとセカンドPTTチャンネルに移動して送信します。

- 4 通常のチャンネルが受信状態になると、「#2」アイコンの表示が消えます。

- 5 通常のチャンネルで送信するときは【PTT】を押します。



- セカンドPTTチャンネルと通常のチャンネルが同じ場合、セカンドスキャンをおこなないので、「#2」アイコンは表示しません。

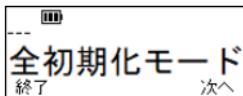
全設定初期化

無線機の各設定を、購入時または前回 MCP-10B で書き込まれた設定値に戻すことができる機能です。

- 1 無線機の電源を切る

- 2 【サイド1】と【サイド2】を押しながら無線機の電源を入れる

全設定初期化モードに入ります。



- メニュー モードから全設定初期化モードに入ることもできます。《p.46 を参照》

- 3 【O】を押す



全初期化確認画面で、「実行しますか?」と表示されます。

操作のしかた

4 【○】を押す

全設定初期化を実行し、無線機が再起動します。

【PTT】または【S】を押すと、無線機は初期化されずに再起動します。

メニュー モードについて

メニュー モードはメニュー形式で機能を選択し、実行することができるモードです。

2つのメニュー モードがあり、普段使用する機能は、メニュー モードを使用し、あまり使わない機能は拡張メニュー モードを使用するなどの使い分けができます。



◆ 各メニュー モードの機能設定一覧は、出荷時の設定です。

メニュー モードへの入り方の操作方法

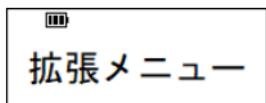
1 メニュー モードは、【○】を押す

メニュー モードに入り、カテゴリーアイコンが表示されます。



拡張メニュー モードは、【○】を押しながら電源を入れる

拡張メニューの起動画面を表示し、2秒経過または、いずれかのキーを押すとカテゴリーアイコンが表示されます。



【拡張メニュー起動画面】

2秒後



【カテゴリーアイコン表示画面】

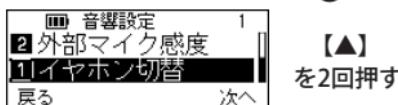
メニュー モードの操作方法

1 【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンを選択し、【○】を押す



機能リストが表示されます。

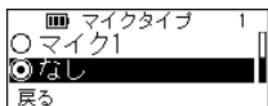
2 【▼】/【▲】で、機能を選択し、【○】を押す



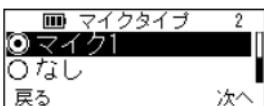
選択した機能の設定値が表示されます。

操作のしかた

3 【▼】/【▲】で、設定値を選択し、【○】を押す



【▲】
を押す



【○】
を押す

4 終了するには

メニュー モードを終了するには、【←】を押すとチャンネル表示画面に戻ります。

拡張メニュー モードを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

メニュー モード機能一覧

はっきり聞取り	38
ブルートゥース (TPZ-D563BTのみ)	38
BT 電池セーブ (TPZ-D563BTのみ)	39
BT 機器 (TPZ-D563BTのみ)	39
ペアリング待受 (TPZ-D563BTのみ)	39
BT オプション (TPZ-D563BTのみ)	39
BT 情報 (TPZ-D563BTのみ)	39
BT リセット (TPZ-D563BTのみ)	39
BT スピーカー (TPZ-D563BTのみ)	40
2nd PTT CH	40
UC 設定	40
上空 CH	40
秘話	40
VOX	40

機能項目表示	機能説明	
設定値	設定値説明	設定画面表示
はっきり聞取り		はっきり聞取り機能を有効または無効にします。
この機能を有効にすると、受信した音声を周囲の環境に適した音質モードに切り替えて、騒音下などでも聞き取りやすくすることができます。		《➡ p.31 を参照》
オフ	はっきり聞取り機能が停止します。	
オン	はっきり聞取り機能が起動します。	
ブルートゥース (TPZ-D563BTのみ)	内蔵 Bluetooth 機能を有効または無効にします。《➡ p.25 を参照》	
オフ	Bluetooth 機能が停止します。	
オン	Bluetooth 機能が起動します。	

操作のしかた

操作のしかた

BT電池セーブ

TPZ-D563BTのみ

接続しているワイヤレスヘッドセットの電池の消費を抑える機能です。この機能を有効にすると、通話時に頭切れが発生することがあります。送信時は一呼吸おいてから通話を開始してください。

オフ

BT電池セーブ機能が停止します。

BT電池セーブ	1
○ オン	
◎ オフ	
戻る	

オン

BT電池セーブ機能が起動します。

BT機器

TPZ-D563BTのみ

登録済機器

登録済みのBluetooth対応機器を表示します。

BT機器	1
BT機器検索	
登録済機器	
戻る	
次へ	

BT機器検索

Bluetooth対応機器を検索します。

ペアリング待受

TPZ-D563BTのみ

Bluetooth対応機器の検索に応答するためのBluetoothペアリング待受モードに入ります。

Bluetooth対応機器からの検索動作に応答すると、無線機はBluetooth対応機器にBluetooth機器名とBluetooth機器アドレスを最大60秒通知します。

ペアリング待受	60s
応答時間	
戻る	

ペアリング待受モード

無線機がBluetooth対応機器からの検索動作に応答できる時間を表示することができます。

◆メモリーコントロールプログラム(MCP-10B)で「Bluetoothペアリング待受け」を無効にして常時検索で発見できない状態にすることで、この機能を使用できます。手動で検索で発見できるようにしたい場合にこの機能を使用します。

BTオプション

TPZ-D563BTのみ

Bluetooth HSP(Headset Profile)接続を使用して無線機に接続するBluetooth対応機器(ヘッドセット)の接続方式を設定することができます。

ヘッドセット1

KENWOOD製ワイヤレスヘッドセットKHS-55BTと接続する場合に使用してください。

BTオプション	1
○ ヘッドセット2	
◎ ヘッドセット1	
戻る	
確定	

ヘッドセット2

予備用(使用しません。)

BT情報

TPZ-D563BTのみ

Bluetooth情報モードに入ります。

Bluetooth情報モード

無線機に設定されているBluetooth機器名、Bluetooth機器アドレス、デバイスクラスを確認することができます。

BT情報	1
デバイス名	
TPZ-D563BTJ	
戻る	

BTリセット

TPZ-D563BTのみ

Bluetoothの機能をリセットすることができます。この機能を使用すると、無線機の電源を切ることなく、Bluetoothの機能を正常な状態に戻すことができます。

取消

メニュー モードを終了し、待受け表示に戻ります。

BTリセット	1
開始	
取消	
戻る	
確定	

開始

Bluetooth機能の設定内容をリセットします。

操作のしかた

BTスピーカー TPZ-D563BTのみ	無線機とヘッドセットプロファイルで接続しているBluetooth対応機器のスピーカーと、無線機の内部スピーカーとのあいだで音声の出力先を切り替えます。Bluetooth対応機器と接続中の場合に切り替え可能となります。	<input type="checkbox"/> BTスピーカー 1 <input type="radio"/> BTのみ <input checked="" type="radio"/> オフ 戻る 確定
オフ	無線機の内部スピーカーに出力します。	
BTのみ	Bluetooth対応機器のスピーカーに出力します。	
2nd PTT CH	通常の【PTT】スイッチを使って送信するチャンネルとは別に、セカンドPTTチャンネルを設定し【サイド2】スイッチを使って送信する2つ目のチャンネルを使用することができます。 【サイド2】スイッチを押したときに送信されるチャンネルを設定することができます。 セカンドPTT機能の運用方法は☞p.35を参照してください。	<input type="checkbox"/> 2nd PTT CH 1 <input type="radio"/> チャンネル1 <input checked="" type="radio"/> オフ 戻る 確定
なし	セカンドPTT機能が停止します。	
チャンネル1～ チャンネル30	チャンネルを選択するとセカンドPTT機能がオンになります。スキャンを開始します。	
UC設定	ユーザーコード通話とは、同じチャンネルを複数のユーザーが使用している場合、同じユーザーコードを設定している通話グループの音声だけを聞こえるようにするグループ通話方式です。《☞p.22を参照》	
なし	ユーザーコードを使用しません。	<input type="checkbox"/> CH一括設定 コード なし 戻る
1～511	選択した番号がユーザーコードに設定されます。	
上空CH	登録局に対する上空利用割当周波数(351.16875～351.19375MHz(6.25kHz間隔)の5波)のS1～S5チャンネルを受信できるようにする設定です。	
陸上	陸上チャンネル(CH-01～CH30)の送受信ができます。	<input type="checkbox"/> 上空CH 1 <input type="radio"/> 陸上+上空 <input checked="" type="radio"/> 陸上 戻る 確定
陸上+上空	陸上チャンネルの送受信と、上空チャンネル(S1～S5)を受信できます。(受信専用です)	
秘話	デジタルでの音声通話に暗号化をおこない、秘匿性を高めた通話ができる機能です。秘話送信機能のオン/オフを設定します。《☞p.23を参照》	
オフ	秘話機能は動作しません。	<input type="checkbox"/> 秘話 1 <input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ 戻る 確定
オン	秘話機能が動作します。	
VOX	VOXとは、【PTT】を押すことなく、マイクロホンへの音声入力のみで送信できる機能です。 両手がふさがった状態で作業をしているときなど、【PTT】を押すことができない状況で使用します。《☞p.33を参照》	
オフ	VOX機能が停止します。	<input type="checkbox"/> VOX 1 <input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ 戻る 確定
オン	VOX機能が動作します。	

拡張メニュー モード機能一覧

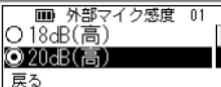
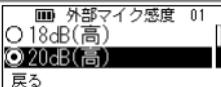
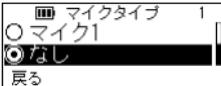
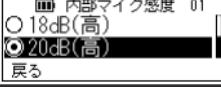
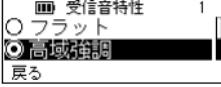
イヤホン切替	41
外部マイク感度	42
マイクタイプ	42
内部マイク感度	42
受信音特性	42
受信音自動制御	43
送信音特性	43
送信音自動制御	43
はっきりレベル	43
電池セーブ	44
PTT ホールド	44
2nd PTT BEEP	44
2nd SCAN TIME	44
縦倍角設定	44
シークスキャン	45
電源オン LED	45
通話開始トーン	45
終話トーン	45
キー操作音	45
送信お知らせ音	45
お知らせ音音色	46
一括秘話鍵	46
個別 ID	46
VOX レベル	46
終話遅延時間	46
全初期化モード	46



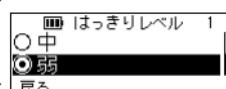
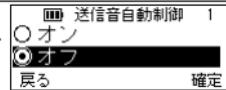
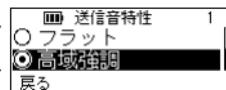
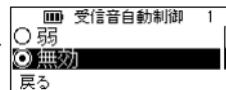
- ◆ ブルートゥース / BT 電池セーブ / BT 機器 / ペアリング待受 / BT オプション / BT 情報 / BT リセット / BT スピーカー の機能項目は、拡張メニューでも設定できます。設定内容については、メニュー モード機能一覧《p.38》を参照ください。

機能項目表示	機能説明	
設定値	選択肢説明	設定画面表示
イヤホン切替	<p>通常モノラルイヤホンを接続した場合は、無線機の【PTT】は使用できませんが、イヤホンモードをオンにすると、無線機の【PTT】を使用することができます。（モノラルイヤホンは弊社推奨製品を使用してください。）</p> <p>◆ 専用オプションや推奨モノラルイヤホン以外のプラグを挿入すると無線機、およびイヤホンを破損する場合ありますのでおやめください。</p> <p>◆ 専用オプション以外を接続している場合、端子部は防水にはなりません。</p> <p>◆ 推奨モノラルイヤホンについては弊社ウェブサイトをご覧ください。</p>	
オフ	専用オプションのイヤホンマイクロホンやヘッドセット、スピーカーマイクロホンを使用するときに設定します。	
オン	推奨モノラルイヤホンを使用するときに設定します。無線機本体の【PTT】が使用できます。	

操作のしかた

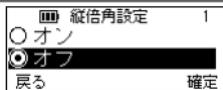
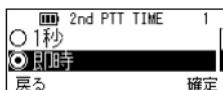
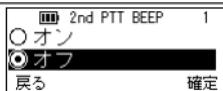
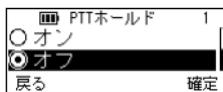
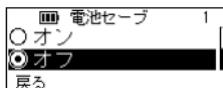
外部マイク感度	スピーカーマイクロホン使用時など、外部マイクロホンの感度を変更することができます。2dB ステップごとに変更できます。	
20dB(高)～ 0dB(標準) ～-20dB(低)	- の数字が大きくなるほど感度が低くなります。0dB は標準感度になります。 数字が大きくなるほど感度が高くなります。	
マイクタイプ	無線機に接続する外部マイクロホンの種類を設定し、音質を最適な状態にすることができます。 ◆ 無線機と Bluetooth ヘッドセットを接続した場合は、マイクタイプの設定は“オフ”として動作します。外部マイクロホンの音質は調整されません。	
なし	オーディオ特性を補正しません。	
マイク 1	EMC-13 を接続時に設定します。	
マイク 2	EMC-14 を接続時に設定します。	
マイク 3	EMC-15 を接続時に設定します。	
マイク 4	KMC-55 を接続時に設定します。	
マイク 5	KHS-37 を接続時に設定します。	
マイク 6	SMC-35 を接続時に設定します。	
マイク 7	EMC-16 を接続時に設定します。	
マイク 8	SMC-36 を接続時に設定します。	
内部マイク感度	内部マイクロホンの感度を変更することができます。2dB ステップごとに変更できます。	
20dB(高)～ 0dB(標準) ～-20dB(低)	マイナスの数字が大きくなるほど感度が低くなります。0dB は標準感度になります。 数字が大きくなるほど感度が高くなります。	
受信音特性	無線機を使用する環境や、相手側の使用環境や声質、マイクロホン、および外部接続機器などの特性により受信音質が変化します。この機能を使用すると、使用状況や好みに応じて受信音質を調整できます。 ◆ はっきり聞き取り機能が「オン」のときは、はっきりレベルの設定が優先されます。	
高域強調	音声の高域を強調し、明瞭で会話を確実に聞き取ることを重視した音質になります。	
フラット	標準的な音質になります。	
低域強調	音声の高域を抑え、低域を豊かにします。落ちついた自然な音質になります。	

受信音自動制御	受信音量が現在の【電源/音量】の位置に応じて自動的に一定のレベルに調整されるため、送信側の入力レベルに強弱がある場合に音声が聞き取りやすくする効果があります。
無効	音量の自動調整をおこないません。
弱	現在の音量設定に合わせ、一定のレベルの音量に調整されます。
強	「弱」よりも効果が強くなります。ただし送信側の小さな音も大きくなり、ハウリングしやすくなるため、送信側が静かな環境のときに使用するなどをお勧めします。
送信音特性	無線機を使用する環境や声質・マイクロホンおよび外部接続機器などの特性により送信音質が変化します。この機能を使用すると、使用状況や好みに応じて送信音質を調整できます。
高域強調	音声の高域を強調し、明瞭で会話を確実に聞き取ることを重視した音質になります。
フラット	標準的な音質になります。
低域強調	音声の高域を抑え、低域を豊かにします。落ちついた自然な音質になります。
送信音自動制御	送信する際の声の大きさや口元からマイクロホンまでの距離などによって、送信音量が大きく変わり、受信側で聞きづらくなってしまうことがあります。この機能を使用すると、マイクロホンの感度が自動的に調整されて、受信側での音声が聞きとりやすくなる効果があります。
オフ	マイクロホンの感度を一定にします。
オン	マイクロホンの感度を自動的に調整します。
はっきりレベル	はっきり聞き取り機能の効果を設定することができます。はっきりレベルモードでは、はっきりレベルの設定を、「弱」、「中」、「強」のいずれかに変更することができます。
弱	周囲雑音に応じたオーディオ特性に切り替えます。周囲雑音が小さいときに適しています。
中	周囲雑音に応じたオーディオ特性に切り替え、さらに音量を3dB上げます。はっきりレベルが「弱」の設定より高い効果を得られます。
強	周囲雑音に応じたオーディオ特性に切り替え、さらに音量を6dB上げます。周囲雑音が大きいときに適しています。



操作のしかた

電池セーブ	無線機がスタンバイ状態のあいだに間欠的に信号の有無をモニターすることにより、電池の消耗を防ぐ機能です。信号を受信するか、キー操作するとバッテリーセーブは一時的に解除されます。
オフ	電池セーブ機能は動作しません。
オン	電池セーブ機能が動作します。
ECO	電池セーブ機能が動作します。 各チャンネルの送信出力がローパワーになり、ハイパワーへの切り替えはできません。
PTTホールド	VOX機能を使用せずにハンズフリーで運用する機能です。通常は送信するとき【PTT】を押し、離せば送信終了します。 本機能をオンに設定すると、【PTT】を一度押せば【PTT】を離しても送信が継続します。送信をやめるときはもう一度【PTT】を押します。 ◆Bluetoothヘッドセットには反映されません。BluetoothヘッドセットにてPTTホールド動作がある場合、Bluetoothヘッドセット側で設定してご使用ください。対応するBluetoothヘッドセットは、「 https://www.kenwood.com/jp/support/com/wireless-headset 」をご参照ください
オフ	【PTT】を押して、離すと送信が終了します。
オン	【PTT】を押すと押した状態が継続されます。
2回押し	【PTT】を素早く2回押すと押した状態が継続されます。
2nd PTT BEEP	セカンドPTTチャンネル送受信時に通常の選択チャンネルと区別するためビープ音を鳴らします。
オフ	ビープ音を鳴らしません。
オン	ビープ音を鳴らします。
2nd SCAN TIME	セカンドPTTスキャン停止後、受信信号がなくなってからスキャンを再開するまでの時間を設定します。
即時	即時にセカンドPTTスキャンを開始します。
1秒	1秒後にセカンドPTTスキャンを開始します。
2秒	2秒後にセカンドPTTスキャンを開始します。
5秒	5秒後にセカンドPTTスキャンを開始します。
10秒	10秒後にセカンドPTTスキャンを開始します。
縦倍角設定	メニューの設定項目を縦倍角(32X16)で大きく表示できます。
オフ	16×16ドットの通常文字表示になります。
オン	32×16ドットの縦倍角文字表示になります。



シークスキャン	スキャン対象に設定されているチャンネルをスキャンし、スキャン停止と同時にスキャンを終了することができます。運用中のチャンネルを確認し、そのまま会話に参加する場合に使います。
オフ	シークスキャンを停止します。
オン	シークスキャンを動作させます。
電源オンLED	電源オン時に点灯するLEDの色を選択できます。使用者やグループを識別したいときに便利です。
無効	電源オン時にLEDを点灯しません。
黄色	電源オン時にLEDが黄色に約2秒間点灯します。
紫色	電源オン時にLEDが紫色に約2秒間点灯します。
青色	電源オン時にLEDが青色に約2秒間点灯します。
水色	電源オン時にLEDが水色に約2秒間点灯します。
赤色	電源オン時にLEDが赤色に約2秒間点灯します。
緑色	電源オン時にLEDが緑色に約2秒間点灯します。
白色	電源オン時にLEDが白色に約2秒間点灯します。
通話開始トーン	【PTT】を押して送信したときに、通話が可能な状態になったことを送信者に音で知らせる機能です。通話の頭切れを防ぐために使用します。
オフ	通話開始告知音を鳴らしません。
オン	通話開始告知音を鳴らします。
終話トーン	送信者が【PTT】を離して送信を終了したことを、受信者に知らせるための告知音です。送信者が送信を終了したことが音でわかるため、返事を返すタイミングがつかみやすくなります。
オフ	終話告知音を鳴らしません。
オン	終話告知音を鳴らします。
キー操作音	キー操作音の音量を変更することができます。
受信音連動	【電源/音量】の位置と連動して音量が変化します。
選択	固定音量キーと連動して音量が変化します。
オフ	キー操作音を鳴らしません。
1~31	選択したレベルの一定音量になります。
送信お知らせ音	受信者に通話の開始を音で知らせる機能です。
オフ	送信お知らせ音を鳴らしません。
オン	送信お知らせ音を鳴らします。

■ シークスキャン 1

オン
 オフ
[戻る](#) [確定](#)

■ 電源オンLED 1

黄色
 無効
[戻る](#)



■ 通話開始トーン 1

オン
 オフ
[戻る](#) [確定](#)

■ 終話トーン 1

オン
 オフ
[戻る](#) [確定](#)

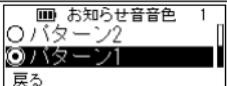
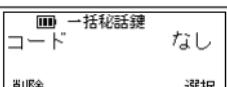
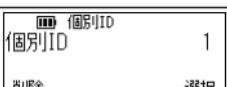
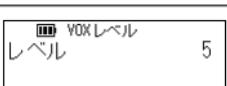
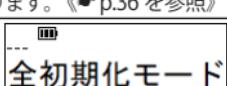
■ キー操作音 01

選択
 受信音連動
[戻る](#) [確定](#)

■ 送信お知らせ音 1

オン
 オフ
[戻る](#) [確定](#)

操作のしかた

お知らせ音音色	送信お知らせ音の音色を選択します。	
パターン1～6	6種類の音色から選択します。	
一括秘話鍵	秘話鍵コードを設定します。秘話機能のオン/オフはメニューの「秘話」で設定します。《☞ p.40 を参照》	
なし	秘話鍵コードが設定されません。	
1～32767	選択した秘話鍵コードが設定されます。	
個別ID	無線機の個別IDを設定することができます。	
1～65519	設定した個別IDコードが登録されます。	
VOXレベル	VOX機能を使用するためのマイクロホンの音声入力の感度を設定します。《☞ p.34 を参照》	
1～10	音声の大きさや周辺の雑音の状況に応じて、マイクロホンに向かって話すときに、VOX機能が確実に動作するように調整します。話しても動作しないときは、数値を徐々に大きくします。	
終話遅延時間	VOX送信しているとき、マイクロホンからの音声入力がなくなったあとに、送信状態を一定時間保持する機能です。	
	本機能により、音声入力が途切れ VOX が動作するマイク感度に達しなくとも送信が一定時間保持され、VOX 送信が途切れることを防止することができます。《☞ p.35 を参照》	
0.1秒/0.3秒/0.5秒/1.0秒/1.5秒/2.0秒/3.0秒	送信中、0.1秒から、3.0秒まで選択した時間のなかでVOX動作するマイク感度に達する音声入力があるとVOX送信が継続します。	
全初期化モード	全設定を初期化すると、設定されている内容はすべて購入時または前回MCP-10Bで書き込まれた設定値の状態に戻ります。《☞ p.36 を参照》	
全初期化	全設定初期化モードになります	

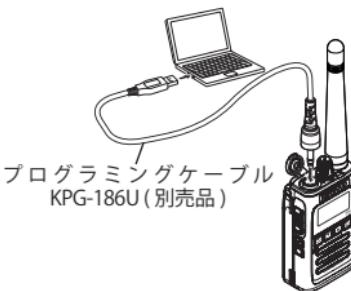
MCP-10Bについて

メモリーコントロールプログラム (MCP-10B) を使用すると、無線機とPCを接続し、無線機の設定情報を読み込んで表示したり、MCP-10Bで設定した情報を無線機に書き込むことで、メニューおよび拡張メニュー モードで操作できる設定項目を追加したり、詳細な設定することができます。詳細な内容は MCP-10B のユーザーズガイドをご覧ください。

基本フロー



【無線機とPCを接続する】



- ◆ MCP-10B を使用するにはプログラミングケーブル KPG-186U(別売品)でPCと無線機を接続してください。TPZ-D563BT では、Bluetooth SPP (Serial Port Profile) を使用してPCと接続することもできます。

MCP-10Bを使ってできること

- **自分好みの無線機に設定することができます。**
詳しくは MCP-10B をインストールすることで確認できます。
(課金なし)
- **メニュー/拡張メニュー項目を追加できます。**
各メニュー mode で設定する項目を追加できます。
- **チャンネルごとに機能を設定できます。**
 - ・チャンネル名 ・秘話機能の設定 ・送信出力など
- **選択呼出機能を追加できます。**
音声通話による個別呼出やグループ呼出などの選択呼出を設定することができます。
- **音声アラウンド機能を設定できます。**
チャンネルを変更したときに、音声でチャンネル番号をアラウンドします。表示を見なくてもチャンネル番号を確認できるように設定できます。
- **自局ID名送信(呼出用チャンネル)を設定できます。**
チャンネル番号 15 (D15) 呼出用チャンネルで自局ID名を送信する機能を設定できます。
- **キー動作機能を変更できます。**
無線機の前面および側面の操作キーそれぞれに機能を割り当てることができます。また、短く押す、長く押すことで1つのキーに複数の機能を設定したり、使わない機能を削除したりすることもできます。

	チャンネル情報
	オプション機能
	キー割当て
	スキャン情報
	デジタル選択呼出
	秘話
	エマージェンシー情報
	データ読み込み
	データ書き込み
<input checked="" type="checkbox"/>	起動時にメニュー・ランチャーを表示

MCP-10B は弊社ウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://www.kenwood.com/jp/products/communications/hpdt/mcp10b.html>



その他

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置	参照 ページ
電源が入らない。	電池の容量が低下している。	バッテリーパックを充電する。 バッテリーパックを交換する。	p.12 p.11
通話ができない。 【電源/音量】を回しても音が出ない。	相手局とチャンネル設定が違っている。 相手局と音声圧縮(符号化)の方式が違っている。 相手局とユーザーコード(UC)が違っている。 相手局と秘話設定が異なる。	同じチャンネル設定にする。 本機と同じAMBE方式の無線機と交信する。 同じユーザーコード(UC)にする。 相手局の秘話設定と合わせる。	p.20 p.9 p.22 p.23
通話ができない。 【電源/音量】を回しても音が出ない。	他のグループが同じチャンネル番号を使用している。 相手との距離が離れすぎている。 グループ番号が違っている。	他のチャンネルに変更する。 通信のできる距離を目安に通信する。 送信側/受信側ともにグループ番号を合わせる。	— p.7 —
送信ができない。	現在のチャンネルで受信信号があるため、キャリアセンス(混信防止機能)が働いている。	チャンネルを変更するか、LEDの緑点灯が消えるのを待つ。	p.21
送信ができない。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続が外れている。 通話時間の制限が働いている。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続を確認する。 5分間の連続送信により自動的に送信が停止した場合は、1分以上待つ。	p.14 p.21
秘話設定やユーザーコード設定ができない。	呼出用チャンネル(CH15)になっている。	CH1~CH14、CH16~CH30を使用する。	p.21
チャンネルが切り替わらない。	キーロックになっている。	キーロックを解除する。	p.32

症 状	原 因	処 置	参 照 ページ
「接続異常」が表示される	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続を確認する。	p.14
オートチャンネルセレクトが動作しない。	ユーザーコードが設定されていない。	送信側/受信側ともに同じユーザーコードを設定する。	p.22
	接続する Bluetooth 機器の電源が入っていない。	Bluetooth 接続する機器の電源を入れる。	p.25
Bluetooth 接続できない。	Bluetooth 機能の設定が「オン」になっていない。	Bluetooth 機能の設定を「オン」にする。	p.25
	接続したい Bluetooth 機器以外の Bluetooth 機器を接続している。	接続したい Bluetooth 機器だけを電源オンにする。	p.25

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別添)

この製品には、保証書を(別途)添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より**2年間**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」で解決できる場合があります。《➡ p.48 を参照ください》

それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

その他

保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償にて修理いたします。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み（有償修理の場合は下記の料金が必要です。）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

KNB-75LA リチウムイオンバッテリー (1820mAh)

KNB-76L リチウムイオンバッテリー (2200mAh)

KSC-47L 急速充電器（連結非対応）

KSC-49LCR 連結充電台

KSC-45LSL KSC-49LCR 連結充電台用 AC アダプター

KSC-256A 6 連急速充電器

KBH-20 ベルトフック

KBH-21 ベルトフック

KMC-55 スピーカーマイクロホン

SMC-35 スピーカーマイクロホン

SMC-36 スピーカーマイクロホン

EMC-13 イヤホン付きクリップマイクロホン <VOX 対応>

EMC-14 イヤホン付きクリップマイクロホン <VOX 対応>

EMC-15 イヤホン付きクリップマイクロホン <VOX 対応>

EMC-16 イヤホン付きクリップマイクロホン <VOX 対応>

KHS-37 ヘッドセット（耳掛けタイプ）<VOX 対応>

KHS-55BT ワイヤレスヘッドセット <VOX 対応> TPZ-D563BTのみ

KEP-6 イヤホン（Φ 2.5）

HS-9(G) プチホン型イヤホン（Φ 2.5）

KPG-186U プログラミングケーブル

KBP-9 バッテリーケース
 KLH-203 ハードケース
 KLH-210 ハードケース
 KSB-1 ショルダーベルト
 MCP-10B メモリーコントロールプログラム

(フリーソフトウェア：弊社ウェブサイトよりダウンロードできます。)



- ◆ バッテリーケース KBP-9 使用時の送信出力はローパワー (1W) になります。
- ◆ 本機に使用できるオプションについては、追加されたり、生産が終了することがあります。最新の情報についてはカタログなどをご覧ください。

仕様

機種名	TPZ-D563/TPZ-D563BT
用途	簡易無線機 登録局
周波数範囲	許可された 351 MHz 帯
チャンネル数	30ch (陸上・海上用) 5ch (上空用受信専用)
電波型式	F1C/F1D/F1E/F1F
変調方式	4 値 FSK (デジタル)
送信出力	5 W/1 W
電源電圧	DC7.4 V ± 10%
内蔵スピーカー出力	700 mW (10% 歪)
使用温度範囲	-20°C ~ +60°C
外形寸法 (突起物含まず)	幅: 56 x 高さ: 92 x 奥行: 28.4 mm (KNB-75LA 使用時) 幅: 56 x 高さ: 92 x 奥行: 31.8 mm (KNB-76L 使用時)
質量 アンテナ、ベルトフック、 バッテリー含む	約 247 g (KNB-75LA 使用時) 約 276 g (KNB-76L 使用時)
アンテナ端子	SMA-J
防塵・防水性能	IP54/ IP55/ IP67/ IP68



- ◆ 仕様は予告なく変更することがあります。
- ◆ 本機は種別コード 3R のデジタル無線機です。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計認証を取得した、デジタル簡易無線電話装置です。本機を分解・改造して使用すること、また本機裏面の工事設計認証ラベルをはがして使用することは、電波法により禁止されています。
- 本機では、付属のアンテナ以外に技術基準適合証明等で認証を受けたアンテナもご使用いただけます。技術基準適合証明等で認証を受けたアンテナについては、弊社ウェブサイトをご覧いただくなか、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 登録状の範囲を超えた運用は電波法違反となりますのでご注意ください。
- 他人の通話を聞いて、その内容を漏らすこと、または窃用することは電波法により禁止されています。
- 無線局の登録（包括登録の場合には開設の届出）をおこなうと、総務省より電波利用料の納入告知書が送付されてきますので、納付期限内に電波利用料を納付してください。
- 登録局の有効期間は、登録の日から5年間です。再登録の申請は、登録の有効期間満了の3か月前から1か月前までの期間内に手続きをおこなってください。
再登録をおこなわずに本機を使用しますと、「電波法第110条」により、「1年以下の懲役又は百万円以下の罰金」に処せられます。十分ご注意ください。
- その他、必要に応じて下記の手続きをおこなってください。
 - ・ 登録状の記載事項に変更が生じる場合（変更登録）
 - ・ 登録状が破れたり、汚れたり、紛失した場合（再交付申請）
 - ・ 登録した無線機を廃止する場合（廃止届出）
 - ・ 友人などに登録した無線機を貸出した場合（無線局の運用の特例に係る届出）

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル	 0120-2727-87
携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル	 0570-010-114
一部のIP電話など、フリーダイヤル、 ナビダイヤルがご利用になれない場合は	045-450-8950
FAXを送信される場合は	045-450-2308
住所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付日	月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）
受付時間	月～金曜日 9:30～18:00 土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、下記URLの弊社ウェブサイトをご覧いただくなか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

株式会社JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12



Radio Communication Solutions
株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

© 2021 JVCKENWOOD Corporation